

事業番号	15 05 11	事業改善シート（28年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	未来を担う科学技術人材育成事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
					課・局・室	教学指導課	
					E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp	
					実施期間	H28 ~	
総合5か年計画	プロジェクト						
	施策の総合的展開						
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	「ものづくり長野」・「イノベーション長野」を支え、けん引する科学技術人材を育成することで世界をリードする科学技術人材を育てる長野県「科学の長野」のイメージ定着を目指す。					
現状（予算編成時）	明日の長野県を担う子どもたちが、未来を切り拓く力を身に付け、希望する進路を実現できるようにするため、「こどもの未来支援積立金」を活用し、広く貧困等の困難を抱える子どもたちを支援する。					
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】			
	県民との協働による実施： 検討中		「科学の長野」のイメージ定着を図るためには、県が全国大会の誘致・開催や児童生徒に対して、築き上げた基礎力に加え、視野拡大・興味喚起、卓越性を伸長するための取組を継続して行っていく必要がある。			
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「科学の甲子園ジュニア」全国大会プレ大会参加チーム数30チームを目指す。</li> <li>・科学オリンピック参加者数100人を目指す。</li> </ul>					
	② 事業内容 <span style="float:right">(単位:千円)</span>					
		項目	実施方法	H28実施内容	H27 (当初)	H28 (要求) (予算案)
		科学の甲子園ジュニア(全国大会)誘致・継続開催	直接	全国の中学生が都道府県を代表して科学の思考力・技能を競う「科学の甲子園ジュニア全国大会」を長野県で平成29年度から10年連続して開催		3,973
		サイエンス・アソシエーション・プロジェクト	直接	県立高校が産学連携により行う実験、実習等の体験的・課題解決的な学習活動や、海外研修等を支援		21,558
	科学オリンピック養成講座	直接	国際的に通用する科学人材の実力養成講座や強化合宿の実施		4,469	
	合計			0	30,000 0	

事業コスト	区分(単位:千円)		26年度	27年度	28要求	28予算案	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	H26末	H27末(見込)	H28			H29目標
		当初予算			30,000					目標	成果	達成状況	
		補正予算											
		合計(A)	0	0	30,000	0							
	Aの財源	一般財源			30,000		「科学の甲子園ジュニア」全国大会プレ大会参加チーム数	-	-	30チーム			
		県債					科学オリンピック参加者数	-	-	100人			
		国庫支出金											
		その他	0	0	0	0							
	決算額(B)												
概算人件費	職員数(人)			2.00									
	概算人件費(C)	0	0	16,516	0								
	概算事業費(B(A)+C)	0	0	46,516	0								

指摘事項等への対応	(指摘事項等)	(対応)
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		

要求からの主な変更点	
------------	--